



スタンドスタッフ

いくま
百瀬育馬さん(下竹田)

「いらっしゃいませ」と元気良く対応する若手スタンドスタッフ。
東京の自動車関係の学校で4年間学び、2級整備士の資格を取得し、
やまがた給油所で働いている。

給油はもちろん、洗車、タイヤ交換、エンジンオイル交換などもテキ
パキとこなし、セルフスタンドにはない対応を心がけ2年。

「お客さんと接し世間話をするのが楽しい」と言いながらも、車の
いたるところに目を配る育馬さんです。

(2月12日 グリーンロードやまがた給油所にて)

働く姿
シリーズ

告知板

平成28年度版生涯学習カレンダーの配布について

3月25日(金)からになります。年度末の配布となりますがご了承ください。

トレセンなどの施設予約が始まります

平成28年度のトレーニングセンター、ミラ・フード館、ふれあいドーム、テニスコートの予約が3月18日(金)から始まります。施設予約を希望する方は各施設にお問い合わせください。

トレセングラウンド、小学校グラウンドの利用機関の延長について

平成28年度からトレーニングセンターグラウンドと小学校グラウンドの利用期間を、現在の「10月末まで」から「11月末まで」に延長します。

館報やまがた縮刷版 第4巻の販売が始まります!!

山形村公民館では、700号発行を記念して館報やまがた縮刷版第4巻を発行します。村の歴史を語る貴重な資料です。ぜひこの機会にお買い求めください。

- 販売予定日 平成28年3月上旬
販売価格 1冊(全840頁) 7,000円
取扱窓口 教育委員会(トレセン窓口)
取扱時間 平日の午前8:30~午後5:00までとします。
お問い合わせ 山形村公民館(98-3155)



1/24(日) 下大池分館
下大池分館では、子どもから大人まで大勢楽しめる内容にしようと、年齢別のフリースロー大会と、分館役員が講師を務めた、合気道の体験会が行われました。



1/31(日) 小坂分館
ミニ運動会
第1位 中原町
第2位 堂村上
第3位 下北沖



2/7(日) 上竹田分館
ソフトバレーボール
男子 優勝 四ツ谷上・東中
準優勝 原村上
第3位 宮村 中村
女子 優勝 御判形・本郷西
準優勝 中村
第3位 下本郷 原村東



2/14(日) 下竹田分館
ソフトバレーボール
男子 優勝 南堀
準優勝 神明
第3位 上手村 北中
女子 優勝 神明 北中
第3位 竹原 北村

山すそ

好きな言葉のひとつに「紡ぐ(つむぐ)」がある。綿や繭から繊維を引出し、より合わせて糸にする。「言葉をつむぐ」や「命をつむぐ」など、比喩的に表現されることも多い。成長させてもらえるはず!と、勢いだけで飛び込んだ館報編集部。スロースターターな私の性格が邪魔をしてくれたせいもあり、10ヶ月たった今ようやくやくリズムを掴んできたものの、文章力が無いため気持ちに余裕はなく、「言葉えらび」には毎号悩まされている。締め切りを守り担当ページを完成させた時は安堵感でいっぱいになり、何とかやっている自分をほんの少し褒めながら、いつもより一本多くお酒を頂いているという調子だ。先輩たちが自分の色を持ち寄り作ってこられた館報も、今回で718号になる。微力ながらもその長い「糸」の続きに自分の色を入れ、つむぐことが出来ていることを嬉しくまた誇りに思う。編集部員は現在8名。8種類の色をつむいで作っている。今は何色の糸だろう?ステキな色にするためにも自分自身ももっと成長せねばと感じている。

「435対3」

山形村教育相談員
学校支援地域本部
地域コーディネーター

峯村 忠平

こと「メディアとの接触が増加していること」によって、子どもが自分以外の他

縁あつて平成26年4月より教育委員会に勤めさせていた。だくことになり、学校支援地域本部の地域コーディネーターと教育相談員として山形小学校の子どもたちに関わる仕事を担当しています。

地域の人たちによる学校支援が個々やグループでそれぞれに行われるのではなく、村の学校支援地域本部のもとで組織立って行われていることを羨ましく思っていました。その地域コーディネーターとして活動する中で、ボランティアの方々と知り合い、今まで話したこともない人たちが子どもたちのことで話すことができたり、子どもたちと一緒に活動することで元気をもらったりと、私自身の世界を広げることができて、本当にありがたいと思っています。

昨年、生涯学習推進センターで開催された家庭教育講座『子育てと子どもの未来づくり』の講師である門脇厚司筑波大名誉教授の『社会力を育てよう』の講義の中で、現在子どもを取り巻く人間関係の

量が、昔と今では「435対3」になっているという話がありました。一昔前に比べて、一世帯あたりの家族の人数が減ったことで人間関係が「子と母親の関係」を一つと数える

と、5人家族の場合は「子と祖母（祖父）」「兄と父」といった関係も含めて10種類の関係ができる。しかし、3人家族では「父と母」「父と子」「母と子」の3種類しかない。また、地域との関わりを見ても、近所同士の関係が「向こう三軒両隣」と言われていた頃の関係から考えると、仮に6軒の5人家族が関わりを持つていたとすると全部で435種類の人間関係があることになる。いわば一人の子どもが地域での人との関わりが昔と今では「435対3」になってきているということである。

『今の子どもたちの生活の様子を見てみると携帯やパソコンでコミュニケーションをとることが多くなり、直接的な接触が少なくなっている。家族のサイズが小さくなったこと』地域との関わりが薄れた

者として成長する機会が圧倒的に減ってきて、発達に大きく影響している。他者を理解し、共感し、協力して何かをやる。一人でなく、さまざまな人たちと協力しながら一緒にやることこそ、生きていく上で最も大切なこと」というお話を聞いて、山形村の子どもたちにも同じことが言えると感じています。子どもたちに「人と関わる楽しさ」を感じさせること。特に幼児期や学童期に親や兄弟姉妹といった家族以外の大人と出会い、交わり、協働することが、心の発達を促し、関わりで培った力が、ひいては互恵協働社会をつくる原動力になっていくのだと思います。その意味でも学校支援地域本部のコーディネーターとして地域や学校で多くの人たちと子どもたちが関わりを持つてよう手助けができたらと思っています。

子どもたちにとっておせっかいなおばさん、おじさんが今だからこそ必要なのだと思います。

節分 保育園豆まき

2月3日(水)、山形保育園で節分の豆まきが行われました。今年はいんぷるエンザの流行のため遊戯室での豆まきではなく、保護者会の役員がふ



んする3匹の鬼が各教室を回り、手作りの鬼のお面を付けた園児たちは、怖がりながらも鬼に向つて勢いよく豆を投げつけていました。年少や未満児のクラスでは先生の後ろに隠れ泣き出す子どもも多くいましたが、園児たちの元気な豆まきによって鬼も追い払われ、子どもたちのうちの弱虫鬼や、いんぷるエンザ鬼も退治されていきました。



天体望遠鏡操作会

2月6日(土)、ミラ・フード館で、天体ドームに設置されている天体望遠鏡の操作体験会が行われました。当日は、村内外から15名程が参加し、天体観測を支援する「天体協力者の会」の会員の指導を受け、40cmレンズの大型望遠鏡や小型望遠鏡の操作や、星の観測を体験しました。

天体協力者の会では、毎週土曜日に天体観測会を実施しています。今年は、3月9日(水)の部分日食(太陽の35%程

度が欠ける)や、5月31日(火)の火星の最接近(2年2ヶ月ぶりの接近)などの天体ショーがあります。40cmの大型望遠鏡は近隣地域でも数少ないものです。天体観測に興味のある方も、そうでない方も一度、天体ドームに足を運んでみてはいかがでしょうか。





自然の驚異 清水高原を雨氷が襲う!!



雨氷と思われる氷が付着した木の枝

(市民タイムス提供)

29日から降り出した雨は、当初大雪になるとの予報から大雪に対する準備や警戒を進めていた方も多かったことと思います。雪の状況は少量で安心した頃から、清水高原周辺では特殊な気象条件で発生する「雨氷」と思われる現象が起き、カラマツ、榛の木など数えきれないほどの立木がその重さに耐えきれず倒れました。清水高原に通じる道路は、雨氷と思われる現象による倒木で通行できなくなり、電気・電話も通じなくなり、一時はスカイランドきよみずを中心に39人の方が孤立するという事態に見舞われ、県の防災ヘリで支援物資が空輸されるなど思いもよらない事態となりました。

ドキュメント

1月29日

12:20 スカイランドから倒木の通報あり

12:30 倒木処理で職員、地元業者が現場入り

18:15 スカイランドから停電の第1報あり

追って別荘所有者から停電の連絡相次ぐ

18:40 美の里ヶ丘、唐沢上地区周辺で停電発生

19:30 理事者に状況報告

9:00 1班 現場から報告

倒木は数百本になる

電柱も折れている

電線も切れ道路に散乱している

11:00 2班 村内業者が倒木処理にあたる

中電、NTTが2班に合流

14:20 県の防災ヘリ要請検討

県の防災ヘリで物資輸送が決定



雨氷による倒木で寸断される村道

21:00 理事者、関係職員で対応協議

職員が庁舎待機

1月30日

7:00 災害対策本部設置及び会議

7:50 3班編成で現地入り

1班 現場確認に職員が徒歩で出発

10:00 完了

10:05 観光道路開通

10:16 スカイランド出発

11:05 15人が下山

11:25 役場到着

11:30 宿泊者8人が帰宅

15:02 物資の投下成功

15:30 災害対策本部会議

職員が庁舎待機

1月31日

7:45 各班現場入り

7:30 観光道路の道路確認



アイシティヘリポートで物資搬入

14:50 アイシティヘリポートにヘリ到着

物資搬入

今まで経験したことの無い災害が起きました。すべてが初めてづくしのこの災害に、村は素早く正しく対応できたのか、改善点はあったのか。多方面からの検証が必要である。

この経験を次に生かせるように、きちんとした振り返りと見直しを行い、これからは起こるであろう不測の事態に備えることが大切です。

終わりに、この度の雨氷による被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。



関係職員を集めた打合せ

15:27 中電発電車による送電開始

18:05 災害対策本部会議

18:20 本日の作業終了解散

災害対策本部は当面継続

2月8日 災害対策本部解散



～お役立ち情報シリーズ～

マイナンバーカードについて

平成28年1月からマイナンバー（個人番号）の利用が始まりました。初めて導入されること... だらけというのが実情ではないでしょうか。そこで、編集部ではマイナンバー制度で登場したマイナンバーカードについて調べてみました。



マイナンバーカード見本

マイナンバーとは？

国民一人ひとりが持つ12桁の番号のことで、税金や年金、雇用保険などの行政手続きに使用します。

マイナンバーカードを
取得するには？

まずは、申請が必要です。4つの申請方法があります。

郵送

マイナンバーカードの交付申請書に本人の顔写真を貼り、返信用封筒に入れて郵便ポストへ。

スマートフォン

スマートフォンで顔写真を撮影し、所定のフォームからオンラインで申請する。

パソコン

デジタルカメラで顔写真を撮影し、所定のフォームからオンラインで申請する。

まちなかの写真機

申請書を持参して、申請可能な証明写真機で顔写真を撮影して申請する。

申請後、交付通知書が自宅送付されたら、交付通知書と通知カード、本人確認書類免許証などを役場窓口へ持っていきとマイナンバーカードが交付されます。

有効期限、成人は10年

20歳以上の方は10回目の誕生日までですが、20歳未満の方は容姿の変化を考慮し5回目の誕生日までが有効期限となります。10年または5年間と同じ写真を使い続けることになるので、写真選びもポイントになりますね。

昨年送られてきた
通知カードの扱いは？

簡易書留で送られてきた紙製のカードが通知カードの上部のマイナンバー（個人番号）が記載されています。写真が無いので単体では本人確認ができません。身分証明書としては使えません。通知カードには有効期限はありませんがマイナンバー（個人番号）が記載された書類なので無くさないよう大切に保管が必要です。なお、マイナンバーカードの交付を受けると通知カードは不要となりますので、交付時に行政に返納することになります。

マイナンバーカードの
メリットは？

個人番号を証明する書類として利用できる。各種行政手続きのオンライン申請ができる。本人確認の際の公的な身分証明書となる。各種民間のオンライン取引に利用できる。

市区町村や国等が提供する様々なサービス毎に必要な複数のカードがマイナンバーカードと一体化できる。コンビニなどで各種証明書を取得できる。

ということですので、今すぐ取得しなくても不便は無いかなと思います。しかし、カードを取得したのちに保険証、図書館カード、印鑑登録証明書などを一体化した場合、利便性が上がると思われるので、免許証のように携帯する時代が来るかもしれません。

デメリット

マイナンバーカードは裏に個人番号が記載されているので、大切な個人番号がもれるという可能性があります。紛失、提示の際など、持ち歩く場合は注意が必要です。

マイナンバー詐欺に
注意！

公的機関の職員がマイナンバー（個人番号）を電話で聞くことは絶対にありません。マイナンバー（個人番号）に関連して何かを聞き出そうとしたり、お金を請求されたら間違いなく詐欺です。お金は絶対に渡さずに警察などへ相談してください。



マイナンバー制度によって国から一人ひとりに番号をつけられるということに、嫌悪感を感じる方も実際おられると思います。時代の流れには逆らえないことは事実であり、マイナンバー（個人番号）に対して、私たち国民も関心をもち注意して運用することが必要だと思えました。

マイナンバーカード交付申請書は通知カードと共に送付済

公民館主催講座

マグネット吹矢 1/26(火) トレセン
ふるさと大ホール

吹矢は腹筋を使うことで脂肪を燃焼します。25発吹くとウォーキング30分と同じくらいのカロリー消費ができると言われていているそう。



敬意を払い3本の矢を吹く。矢が当たった点数の合計を計算すると、頭の体操にもなって、一石二鳥にも三鳥にも。

心書入門 1/26(火) トレセン
めばえの部屋

『太い細いを組み合わせると、ドラマチックになりますよ～。みなさん、頭を柔らかくして楽しんで書きましょうね』



昨年に引き続き今回で2回目生徒さんの上達ぶりに講師の吉野浩さんもビックリ!



わざと余白にして、相手にイメージさせることもできます!

New! 男のキッチン 1/29(金) トレセン
食堂

保健福祉課の唐沢京子栄養士が教えるヘルシー料理。手際の良い王子たちにより、あっという間に完成!そして美味しく。



長いものグラタンに挑戦中!バターの香りが部屋いっぱい広がります。



薄くず汁の具材を切る、顔出しNG王子の華麗包丁さばきはサマになって。



誌上で巡る 山形の道祖神

案内人 籠田次郎

竹原その1(下竹田) 31

所在地・下竹田北堀の辻
碑身・縦長の自然石 高さ七十センチ 幅四十センチ

下竹田北堀の辻は秋葉さまの辻と言い、二基の文字碑の道祖神が祀られています。

前回は向かって左側の文字碑を案内しましたが、今回は向かって右側に祀られているやや小ぶりな文字碑の案内となります。正面の峰は、文字を守るようにひさしになっていて、手前やや湾曲し、真ん中から下が大きく広がり「ドン」と据えられた姿には安定感があり、堂々としています。左側の「流麗」とは対照的で丸みが無く、どこにもあるまさに『路傍の石』です。文字はひさしの下から折り目

正しい楷書で「道祖神」と彫られており、習字のお手本を見るようで気持ち落ち着きます。

この石仏群は道路拡張により、前回紹介した文字碑「流麗」は秋葉さまの北の辻から、またこの「竹原その1」は東の辻の垣根にあったものを移転したもので、近くには馬頭観音と廻国供養塔が祀られており、当時の人々の往来が忍ばれます。3月の休みには、少子化により参加する人数は減ってはいませんが、近所の集会所で子どもたちによるお祭りが現在も行われています。

おめでた(子・親)
中島 悠・淳・中大池
吉澤 七望・剛
すみれ・下大池
柴澤 翼・元一
亜紀子・小坂
牛丸 米子・97歳・上竹田
おくやみ

(敬称略)

『手帳甲子園』 塩尻志学館高校 2年(共に下竹田)

手帳活用術部門 優秀賞 百瀬 麗さん(写真左)
デザイン部門 佳作 印牧 侑紀さん(写真右)

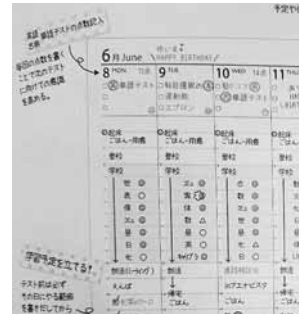


おめでとうございます!



印牧さんの作品

印牧さんは、配布された手帳の雰囲気を活かすため、白黒ですっきりと表紙、裏表紙をデザイン。特殊メイクアーティストを指し、日々夢を追いかける侑紀さんの世界観が随所に表現された作品になりました。麗さん、侑紀さんおめでとうございます。



百瀬さんの作品



昨年好評だった伝承館と図書館のコラボ企画の縄文フェアの第2弾が図書館で開催されました。今回は、「土偶」に特化し、村で出土した土偶の展示が行われ、図書館を訪れた人たちが珍しそうに展示ケースを覗きこんでいました。また、縄文フェアの一環として、縄文土器の文様を拓本で写して本のしおりを作る講座も開催されました。

ふるさと伝承館と図書館 コラボ企画 Part 2

みんなの人権 ⑥

人権学習ばいのちの学習(その)

“アオダイショウ騒ぎ...山形小わくわくクラブと”いのちの学習”



「アオダイショウさんが、ぼくのいのちを救ってくれてありがとう。」
「アオダイショウさん、おかげでぼくのいのちが助かった。」
「アオダイショウさん、おかげでぼくのいのちが助かった。」

先日、山形小学校の学校支援に携わっているボランティア関係者と山小の先生方との、合同ボランティアの集いが開かれました。その席で、長年にわたって「自然体験クラブ」の地域講師を務めるKさんが、山形っ子との素晴らしい出会い体験を語ってくださいました。そのなかの一つのエピソードに貴重な「優の風景」のひとつを垣間見た思いがしました。数年前の夏の昼下がり。なろう原公園周辺の自然体験の学習を終えて帰る道すがら、子どもたちは一匹のアオダイショウと出会いました。一人の爬虫類好きの男の子が「ぜひ自宅に持ち帰って飼ってみたい」と言い出し、家に持ち帰りました。ところが、母親から蛇を飼うことに猛反対されてしまった彼は、しぶしぶ元の場所にその蛇さんを戻してやりました。その男の子は、「その時アオダイショウが、ぼくを元のお山に返してくれてありがとう。いのちを助けてくれてありがとう。」とささやいているような気がした」と、後日、目に涙を溜めて語ってくれたそうです。

地域の絆を再構築することが社会の切実な課題になっっている現在、「自然豊かな山形村の地で、山形っ子たちが『優しく、賢く、たくましい人間力』を身につけ、『人権を尊重し合う』土壌づくりをしていく、そんな取り組みが、地域でも学校でも、今強く求められています。その原点は、Kさんが語ってくれた「アオダイショウ物語」のように、「生きとし生けるもののいのちを尊敬しあう土壌づくり」。それはまた、絵本「いのちをいたたくみいちゃんがお肉になる日」(講談社)にも描かれるように、「たっくさんのいのちをいただいて、自分たちのいのちをつないでいる」という、私たちの生活の在りようを考えることにも通じるように思います。このことは、文字通り「いのちの学習」であり、「人権学習」の基盤でもあります。

(H・28・2 M・H記)



『親子二人三脚で華麗に舞う』

永田美保さん
詩織さん
(小坂)



KIZUNA

絆

2月の最終週にかけて東京で開催される『全日本新体操チャイルド選手権』に出場する詩織さん。小学校1年生から続けてきた新体操も6年生で挑むこの大会で大きな節目を迎えます。

「週5日の練習は、ちよつとつらい時もあるけど、お母さんの運転する車で送ってもらつと、何だか頑張れる」と詩織さん。

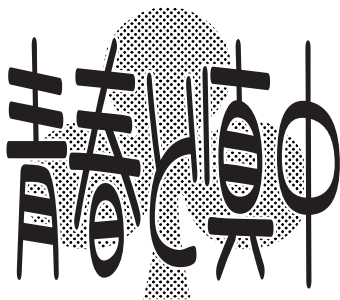
「きびしい練習にも弱音を吐かずに一生懸命に取り組む姿を見てると、送迎や競技会などの裏方の仕事にも不思議と気合が入ります」と嬉しそうに語るのは母親の美保さん。3年生の時初めて出場した大会で、普段は恥ずかしがり屋の詩織さんが生き生きと楽しそうに演技をする姿を見て驚きと感動で涙が止まらなかったそうです。

それから本格的に始まった親子二人三脚での競技生活。中学生になっても続けますか?の質問には、「...」だからこそ2月の競技会にかける気持ちには熱いものがあります。

「全日本選手権で35人の決勝演技者に残ること。やつぱり恥ずかしそうに詩織さんが教えてくれた目標に向かって、しなやかな体を生かした得意技、ジャンプ開脚」と美保さんの気合の入った送迎には、より一層の磨きがかかります。(1/29取材)

岩井 海姫さん

上竹田
(小5)



棚橋 優生くん

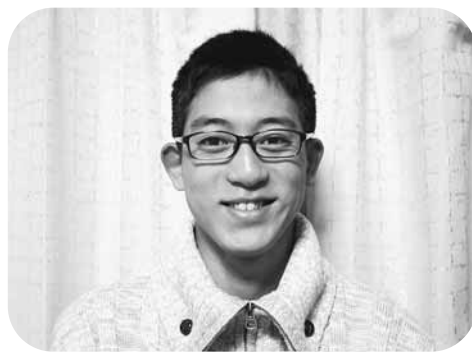
下大池
(中3)



とにかく
夢中です



一本勝ちで
いこう



健康のためにと小学校1年生から始めた柔道。初出場の大会は開始後わずか6秒で投げ飛ばされるといふ衝撃の結果でしたが、中学校2年生の新人戦では県大会で優勝するまでに成長。また、鉢盛中学校生徒会長として挑んだ白峰祭では学校全体がひとつになれたことを「感動しました」と笑顔で語る優生君。文武両道のお手本のようなです。

「内緒にしておいて下さい」と、こっそり教えてくれた夢に向かって、まずは試験勉強に最大集中の日々を送る爽やかな受験生です。

少女バレーボールチーム山形JVCに所属し、4年生からレギュラーとしてチームを引っ張る海姫さん。最上級生となる今年はキャプテンをつとめ、ポジションはセッター、チームのまとめ役として週4日の練習に打ち込みます。

学校でも休み時間開催の男子相手のバレー対決で容赦なしのスパイクをたたき込むというバレー漬けの毎日ですが、家に帰ればのんびりと「しませんよ」。宿題を済ませたら妹相手に熱血指導がはじまります。とにかくバレーに夢中な海姫さんなのです。